

# GML

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

入って良かったロータリー

5

## CONTENTS

- P 2 五十幡ガバナーメッセージ  
P 3 地区チームラーニングセミナー開催報告 栗原雄一 次年度地区幹事  
P 4 RLI 研究会 養成セミナー開催報告 新島修一委員長  
P 5 第2回 社会奉仕セミナー 子ども家庭委員会 委員長 下境将寛  
P 6 R米山記念奨学生修了式並びに歓送会 米山記念奨学委員会 学友委員会 櫻井祐治委員  
P 7 新座こぶしロータリークラブ 30周年  
P 8 表彰 アーチ・クランフ・ソサエティ 高柳育行会員  
P 9 表彰/新会員/訃報  
P 10 会員数/今月・来月のスケジュール

## さきたま 火祭り

古事記によると  
天照大神の孫「ニニギノ命(ミコト)」が  
大山津見神の娘  
「コノハナサクヤ姫」と婚姻。  
ニニギノ命に一夜の交わりで  
身ごもったのを疑われた  
コノハナサクヤ姫が、疑いを晴らすため  
「神の御子であるならば、たとえ火の中でも  
無事に生まれるでしょう」と産屋に火を放ち、  
その中で海幸彦(ウミサチヒコ)・  
山幸彦(ヤマサチヒコ)を  
無事に出産しました。  
さきたま火祭りは故事に倣い、  
火觀る人を古代のロマンと  
神話の世界に誘うお祭りです。

2025.5.4(祝日)  
県営さきたま古墳公園にて開催予定



2024-25年度 国際ロータリー第2570地区 ガバナー

五十幡和彦 (行田さくらRC)

Isohata Kazuhiko

5月は国際ロータリーの「青少年奉仕月間」です。

ロータリーは、  
次世代のリーダーを育てる  
ことの大切さを信じています

私たちのプログラムは、教育の機会を広げ、若い世代のリーダーがリーダーシップのスキルを身につけ、  
奉仕の価値観を学べるよう応援します。

#### インターアクトクラブ

12~18歳の人たちが集まるインターアクトクラブでは、インターアクト会員が、リーダーシップを發揮する力を磨きながら、奉仕プロジェクトや活動を通じて国際感覚を養っています。



#### ロータリー青少年交換

世界100カ国以上で実施されているロータリー青少年交換は、ロータリークラブの支援の下、15~19歳の学生が外国語や異文化を学びながら、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。平和の実現を目指して国際理解を促し、若者一人ひとりの育成を支援します。



#### ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)

RYLAは、若い人たちが楽しみながら新しいスキルと自信を身につけることを目指すリーダーシップ養成プログラムです。このプログラムは、1日のセミナーから1週間の合宿までさまざまな形で行われます。

(ロータリー・インターナショナルサイトより)

#### 青少年プログラムのためのリスク管理

教育、職業研修、人道的活動の参加者のけが、病気、虐待などに対処できるよう、起こり得るさまざまなリスクを理解しておくことは、とても重要であり、こうしたリスクを減らすと同時に青少年を守るために、危機管理プログラムを立案すべきです。

若者と青少年プログラム参加者の安全と福利は、ロータリーの最優先事項で、青少年保護のためのロータリーのアプローチには、以下が含まれます。

- 青少年への虐待やハラスメントを一切容認しない
- 不正行為を防止し、青少年を含むプログラム参加者を巻き込んだ手なづけ行為や虐待の対応方法に関する方針
- 青少年保護の研修を受ける義務
- 性的虐待やハラスメントの報告を受けて対応する際に、トラウマを考慮したアプローチを用いる訓練された職員の起用
- 青少年交換に関与する地区に求められる参加資格認定プロセス

(「ロータリーの基礎」情報研究会編集より)



## 地区チームラーニングセミナー

2025-2026年度 地区幹事予定者  
栗原雄一 (川越RC)

Kurihara Yuichi

3 / 9  
日曜日

時間・場所 13時30分～ ガーデンホテル紫雲閣(東松山)

目的 ガバナー補佐、地区委員、会長エレクトなどが、各自の役割と責任を理解し、地区目標とリーダーシッププランを立て、地区が一体となり円滑な活動を行うための研修会

2025年3月9日、ガーデンホテル紫雲閣にて2025-2026年度の地区チームラーニングセミナーが開催されました。

今年度より名称が『地区チーム研修セミナー』から研修がラーニングに名称変更になっております。2025-2026年度年度、国際ロータリーのマリオ・セザル・マルティンス・デ・カマルゴ会長は『Unite for Good ～よいことのために手を取りあおう～』を合言葉に進めてまいります。

坂口孝インカミングガバナーは8つの指針を掲げて地区運営してまいります。



- ① 会員基盤の強化
- ② 活動の多様化
- ③ 教育・研修プログラムの提供
- ④ 交流イベントの開催
- ⑤ 定期的なフィードバックの実施
- ⑥ 新しいロータリーを創造しましょう(3-Year Rolling Targets)
- ⑦ ロータリー財団への支援
- ⑧ ポリオ根絶

その後基調講演では高柳育行危機管理委員長より危機管理についての話を分かり易く解説していただきました。

その後ガバナー補佐、常設委員長より次年度に向けてのお話を受けました。

その後の懇親会が盛大に開催されました。今回の地区チームラーニングセミナーにてよいよ次年度が始まります。

今年度同様にご協力をお願い申し上げます。





# ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI) 養成セミナー開催報告

RLI担当委員会委員長  
新島修一(深谷ノースRC)

*Niijima Syuichi*

3/15  
土曜日

時間・場所 13時～ 国立女性教育会館(嵐山町)

内 容 ロータリー・リーダーシップ研究会(RLI) 養成セミナー(実技研修)

RLIファシリテーター養成セミナーが、坂口 孝インカミングガバナーの点鐘・挨拶により開催されました。

つづいて茂木正地区ラーニングファシリテーターの挨拶もいただきました。

このセミナーでは、RLIパートI～パートIIIを終了し、リーダーとしての学びをされてきた方10名が参加し、ファシリテーター(FT)としての実技習得を目的として、基調講演とFTとしての実技を行いました。

基調講演では、坂本元彦RLI日本支部地区代表委員より、50分にわたり「決議23-34 社会奉仕に関する1923年の声明」をテーマにお話を頂きました。

この声明が決議された歴史的背景から、ロータリーの奉仕活動の指針、行動哲学を分かりやすく解説して頂き、クラブ運営やロータリアンとしての行動の参考となりました。

実技では、参加者がセッションのテーマ別に3クラスに分かれ、交代で約2時間にわたり、FTとしてディスカッションをリードしました。参加者から発言を引き出し、時には深掘りし、新たな気づきを得てもらうよう促すFTの実技に、実習者は苦戦はされていたようですが、各事業所のリーダーでもある皆さんは初めてでも素晴らしい進行でした。

最後に、相原茂吉RLI日本支部地区FTの講評で、参加者から「RLIは楽しかった。」という感想があつたことが紹介され、RLIは、リーダーシップの習得はもちろん、「知り合いを広めることでも大変有意義である。」とのお話を頂きました。

新たに誕生した10名のFTに、坂口 孝インカミングガバナーからRLIの徽章が手渡され、午後4時45分に閉会しました。

参加者の皆さんには、これから各クラブで質の高いリーダーシップを發揮し、クラブを強化されることと思います。地区では、次年度のRLIで一緒にFTとして、ロータリーの旅を深めて頂きたいと思います。



# 第2回 社会奉仕セミナー 開催報告

子ども家庭委員会 委員長  
下境将寛 (深谷RC)



YouTube動画のQR

*Shimosakai Masahiro*

場 所 国立女性教育会館(嵐山町)

対 象 者 クラブの会長・社会奉仕委員長・子ども支援事業に興味のある会員

3/23

日曜日

桜の開花も間近に迫った暖かな日、第2回社会奉仕セミナーを開催致しました。本セミナーでは、対象者を各クラブの会長及び社会奉仕委員長の他、子ども支援事業に興味のある会員の参加も呼び掛けたところ、70名の参加をいただきました。

また、本セミナーは二部構成とし、一般社団法人埼玉県子ども食堂ネットワーク 代表理事 東海林尚文様による基調講演を第一部とし、当地区の各グループより代表クラブを選び、5名のパネリストによるパネルディスカッションを第二部として行いました。

第一部では、「子ども食堂から学ぶ地域における公益的な取組について」と題し2008年、子どもの貧困問題がクローズアップされた後、子ども食堂が初めて立ち上げられた2012年から今日までの13年間の子ども食堂に求められる役割の変化や地域において如何に機能しているかなどをご紹介いただきました。

食事の提供だけに留まらず、「地域のオアシス」として機能している子ども食堂の現状や家庭でも学校でもない第三の居場所として役割を担う子ども食堂における利用者の生の声や運営側の悩みなど、県内の子ども食堂のサポートや交流、マッチング、更には行政や企業との連携などを手掛ける一般社団法人埼玉県子ども食堂ネットワークだからこそ知りうる情報についてご講演していただきました。

東海林様は声楽科出身の音楽家であり、テノールの美しい声と巧みな話術に参加者は全員熱心に耳を傾けておりました。

第二部では、当地区各グループの代表として、第1グループからは、川越西RCの岸綾子会員、第2グループからは、富士見RCの桑原福治会員、第3グループからは、入間西RCの清水洋行会員、第4グループからは、本庄RCの五十嵐敦子会員、第5グループからは、熊谷南RCの廣瀬功会員がパネリストとして登壇してくださり、各クラブの子ども支援事業の詳細や事業運営の困難な点、改善点などを発表していただきました。

他クラブとの共催事業や他団体を巻き込んだ活動など、大変参考になるお話を伺うことができました。さらに第一部の講演を聞いての感想や今後の取り組み方についてもお話し頂き、子どもたちにとっての居場所作りに向けた活動への各クラブの新たな想いを感じさせていただく大変有意義なパネルディスカッションとなりました。

本セミナーを終えて、各クラブの子ども支援事業の更なる充実を確信した1日となりました。当日お越し頂けなかった方もぜひ今回の講演を動画にてご視聴ください。



五十嵐敦子  
(行田さくらRC)



(本庄RC)  
金井福則社会奉仕  
委員会統轄委員長



(川越西RC)  
岸綾子



(富士見RC)  
桑原福治



(入間南RC)  
清水洋行



(本庄RC)  
五十嵐敦子



(熊谷南RC)  
廣瀬功



# R.米山記念奨学生 修了式並びに歓送会 開催報告

米山記念奨学委員会 学友委員会 委員  
櫻井祐治 (本庄RC)

Sakurai Yuji

3/20  
木曜日

場 所 15:30～ アルカーサル迎賓館川越

対 象 者 今年度終了奨学生12名・継続奨学生5名・ご来賓者・各クラブカウンセラー、  
クラブ会長・地区役員

3月の暖かい日差しの中「2024-2025学年度ロータリー米山記念奨学生の終了式及び歓送会」が執り行われました。今年度終了奨学生12名、継続奨学生5名及び、来賓の方々、各クラブのカウンセラーさん、クラブ会長さんや地区役員も出席し、総勢59名のメンバーが出席し終了式を盛り上げてくれました。

まずは五十幡和彦ガバナー挨拶で米山奨学生の終了者へ温かいメッセージと3つの米山梅吉翁のお言葉をいただきました。1つ目は、この奨学金の目的は、国際社会に対して日本のことより良く知ってもらい、日本との懸け橋になってもらう事。2つ目は、できるだけ稼いで、蓄え、そして与えること。特に世のため人のために与えることのできる人になってほしいと。3つ目は、自分の名を汚さぬ様に生きてほしい。それほど名を大事にしてほしいということでした。

続いての坂口孝インカミングガバナー挨拶では米山奨学生を終了後は学友で活躍してほしい、また、ロータリーの考え方には、相手の立場になって考えること。そんな人になっていただきたいと大事なメッセージをいただきました。

最後に一柳達朗 米山記念奨学委員会統轄委員長代理からの挨拶では奨学生の皆さんのお言葉をいただき、米山記念奨学生はロータリアン一人ひとりのご厚意により預かった大事なお金なので、是非皆さんには、その恩を忘れずにご活躍いただき日本との懸け橋になってほしい、そして学友になってもカウンセラーさんやクラブと連絡を取って、米山記念奨学委員会の行事にも是非参加してほしいとメッセージをいただきました。

奨学生サティフィケート(終了証)及びカウンセラー感謝状贈呈では五十幡ガバナーより米山記念奨学生修了者12人とそのカウンセラーへ。その後、各、終了奨学生とカウンセラーさんから一言ずつ一年間の感想や思い出、感謝の言葉をいただきました。

修了式の閉会後は歓送会へとすすみ、学友委員会副委員長の赤坂さんの和やかな進行でスタートいたしました。

原島生慈ガバナー、高柳育行米山記念奨学委員会担当諮問委員よりご祝辞を頂きました。

歓送会の中で、第2570地区学友会会长 鄭 迎花様から「ようこそ学友会へ」の案内とご講演をいただき、卒業しても各クラブと連絡をとり、是非学友会に入り学友会を盛り上げて行きたいので宜しくお願ひ致します、とメッセージを頂きました。歓送会後半では、継続する奨学生川越西クラブ所属 ヒカさん、熊谷籠原クラブ所属 ケシさん、所沢クラブ所属 テウンさん、川越クラブ所属 サビさん、各人、先輩奨学生として4月から入ってくる新しい奨学生達と一緒に米山記念奨学生の活動を盛り上げて行きたいと言ってくれました。最後は「手に手つないで」を唱和、田久保学友委員長の締めにて終了しました。

最後に集合写真を撮って会は閉会いたしました。卒業される奨学生の皆さん、体に気を付けてロータリーでの学びを忘れずに、日本のため、母国ため、そして日本と母国との懸け橋になれるような人物になって下さい。またロータリーに遊びに来て下さい!



# 30

Anniversary

## 30周年 記念式典開催

新座こぶしロータリークラブ 会長 加藤涼聖



令和7年3月8日、例会場であるベルセゾンにて、新座こぶしロータリークラブ創立30周年記念式典および祝賀会を「夢見る力を持ち続けよう」をテーマに開催いたしました。活動エリアである新座市から並木傑市長にお越しいただき、地区からは五十幡和彦ガバナーならびに島田敏郎ガバナー補佐、第2グループ各クラブの会長幹事、そして米山記念奨学生の周鈺涵(シウ ギョクカン)さん、親クラブ新座ロータリークラブ会員の皆様、近年合同例会を開催している和光ロータリークラブの皆様に

ご列席いただきまして厳かな雰囲気の下、山田一郎実行委員長の歓迎の挨拶を皮切りにスタートいたしました。日本で2117番目、地区内では53番目のクラブとして誕生した当クラブ設立当初の話から、近年の社会奉仕事業である、「市役所のイルミネーション事業」や親クラブと合同で行つてきた「薬物乱用防止教室」などの紹介と事務局を自主運営して結束を深めてきたエピソードなどを紹介させていただきました。



30周年記念ビデオの上映では、10年間のクラブの活動の紹介と全会員のメッセージ、そして並木市長をはじめとする第2グループ各クラブからの祝福のメッセージが披露されました。このビデオは、各クラブの例会に赴いての撮影から編集まで、加藤会長が手掛けました。20分ほどのものですが、メリハリを出すために、映像の半ばに、生で会長が挨拶をするというサプライズ演出も会長の発案です。

パンフレットの作成も含め、会長の「こぶしらしい式典」にしたいという思いが式典全体に溢れています。

ご来賓からの挨拶では、五十幡ガバナーより、他クラブとの合同事業を含め、当クラブが多くの事業に取り組んできたことや3組の夫婦会員を擁することなどに賛賀のお言葉をいただきました。また、30周年記念事業として新座市に寄贈する「大和田水辺の丘公園記念時計台」の



目録を並木傑市長へ、ロータリー財団へ金10万円の寄付目録を五十幡ガバナーに贈呈させていただき、日頃お世話になっている例会場であるベルセゾン様には感謝状を贈呈いたしました。



祝賀会では、チャーターメンバーである蛭間俊彦会員の乾杯の発声で始まり、終始和やかな雰囲気の中で、当クラブ自慢のベルセゾンの料理とお酒と気の合うロータリアン同士の会話を楽しんでいただきました。

宴席を盛り上げるアトラクションは、BGMからお願いしているエレクトーンの演奏を伴奏にカラオケを楽しむ企画です。突然のリクエストでは難しいという判断で、事前に5名の方々にお願いすることにしましたが、皆さん、快くお引き受けいただき、生演奏で自慢の美声をご披露いただきました。その上、並木市長より「いとしのエリー」の熱唱が急きよ加わり、大いに盛り上げていただきました。

閉会に際し、戸高健司幹事より、ご参加のお礼とこれから始まる新たな10年に向けての決意を述べさせていただき、無事、閉会を迎えることができました。

五十幡和彦ガバナーを初め、ご臨席いただきました皆様、本当にありがとうございました。

## 表彰

# arch-klumph-society

アーチ・クランフ・ソサエティ



高柳 育行

*Takayanagi Yasuyuki*

「アーチ・クランフ・ソサエティ」(AKS)は、国際ロータリーの6代目会長、アーチ・クランフにちなんで設立されました。250,000米ドル以上を寄付された方にご入会いただける、財団で最高レベルの認証となっています。アーチ・クランフ・ソサエティは、ロータリーが世界に生み出すインパクトを信じる支援者から成る国際的なネットワークです。財団への惜しみないご寄付は、世界に思いやりと正義をもたらし、今日の活動だけでなく、何世代にもわたるロータリーの奉仕を支えつづけています。

### プロフィール

profile

1953年9月17日生まれ  
1978年 日本大学歯学部卒業  
1981年 高柳歯科医院開業  
1990年 昭和大学歯学博士授与  
2023年8月～ 埼玉県歯科医師国民健康保険組合副理事長

### ロータリー歴

1988年 本庄ロータリークラブ入会(職業分類:口腔外科)  
2008-09 本庄ロータリークラブ会長  
2010-11 第2570地区 ガバナー補佐  
2015-16 第2570地区 ガバナー  
2018-19 第2570地区 地区研修リーダー  
2018-21 RLI日本支部地区代表委員  
2018-21 日本のロータリー一百周年記念事業等委員会委員  
2019-24 ポリオ根絶コーディネーター(第一地域担当)  
2020-23 規定審議会地区代表議員  
2022 RI第2ゾーン理事指名委員会委員  
2022～ 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 選考・学務委員会委員  
2023～ ポール・ハリス・ソサエティ地区コーディネーター  
地区危機管理委員長  
記念誌編集委員会副委員長  
2025 クラブ活性化セミナー 実行委員長  
ロータリー財団 メジャードナー(レベル4)  
ベネファクター  
ポール・ハリス・ソサエティ  
「疾病予防と治療」冠名基金設立  
第20回 米山功労者メジャードナー



# 表 彰

米山功労者マルチフル 5回



志木

小泉 市朗

米山功労者マルチフル 2回



志木

遠藤 貴博

米山功労者マルチフル 2回



志木

榎本 秀夫

ポール・ハリス・フェロー 1回



川越西

久保田 徹



川越

中田 浩至

2025/3/11入会

三菱UFJ銀行 川越支店 支店長

紹介者 岩堀和久・小高 章



坂戸

大塚 祐一

2025/4/3入会

株式会社 雄飛堂 グループCEO

紹介者 菅野雄介



所沢

新井 久文

2025/4/8入会

(株)新井園本店 代表取締役

紹介者 石井正太郎・見澤英一



川越中央

木村 和之

2025/3/10入会

(株)木村屋商店 専務取締役

紹介者 市川悦廣



川越中央

川合 善明

2025/3/17入会

川合法律事務所

紹介者 名誉会員から再入会



新所沢

土方 芳夫

2025/3/25入会

土方造園(株) 代表取締役

紹介者 國分義明



鶴ヶ島

伊藤 達也

2025/4/2入会

飯能信用金庫 鶴ヶ島支店 支店長

紹介者 登坂一彦



飯能

吉田 茂彦

2025/3/5入会

一般社団法人 FPマネースクール 主任研究員

紹介者 半田 武

会員数(人)						
クラブ名	2024年度初め	20253月末	対年初増減	女性会員	MyRotary登録率(%)	
第1グループ	川越	99	98	-1	5	45
	東松山	23	24	1	2	46
	小川	5	5	0	1	0
	坂戸	28	31	3	1	30
	越生毛呂	8	7	-1	1	1
	川越小江戸	15	17	2	2	41
	川越西	26	31	5	4	52
	鶴ヶ島	29	30	1	2	61
	川越中央	21	24	3	1	39
	坂戸さつき	19	19	0	3	53
第2グループ	東松山むさし	37	35	-2	3	37
	合計(11RC)	310	321	11	25	avg. 37
	朝霞	23	22	-1	2	50
	志木	48	51	3	4	47
	富士見	35	39	4	0	57
	新座	25	25	0	3	18
	和光	4	4	0	1	100
	新座こぶし	11	11	0	3	55
	合計(6RC)	146	152	6	13	avg. 54
	入間	38	39	1	1	46
第3グループ	所沢	63	69	6	6	32
	飯能	64	68	4	1	20
	新所沢	19	21	2	2	42
	日高	19	21	2	4	35
	所沢西	39	38	-1	4	31
	新狭山	14	14	0	0	86
	所沢東	46	46	0	1	30
	入間南	37	38	1	0	55
	狭山中央	20	21	1	5	35
	合計(10RC)	359	375	16	24	avg. 41
第4グループ	深谷	54	56	2	13	43
	本庄	89	102	13	12	36
	秩父	51	52	1	1	52
	寄居	35	38	3	1	55
	児玉	2	2	0	0	0
	岡部	17	19	2	2	70
	深谷東	74	72	-2	0	37
	皆野・長瀬	7	8	1	0	25
	深谷ノース	25	28	3	2	48
	合計(9RC)	354	377	23	31	avg. 41
第5グループ	熊谷	98	95	-3	4	52
	行田	54	54	0	5	13
	羽生	38	37	-1	3	13
	加須	21	24	3	1	9
	熊谷西	7	6	-1	0	29
	行田さくら	50	52	2	4	75
	熊谷東	17	16	-1	0	13
	吹上	5	5	0	0	80
	熊谷籠原	30	30	0	0	43
	熊谷南	27	30	3	2	43
合計(10RC)		347	349	2	19	avg. 37
合計	クラブ数	年度初め	3月末	増減	女性会員	MyRotary登録率
46	1,516	1,574	58	112	37	

(注)第3G 所沢中央RCの活動終了に伴い年度初め数と表計算に誤差が生じております

## SCHEDULE 主な活動スケジュール

## 5月

- 4日(日) 姉妹地区地区大会(3502地区)  
 10日(土) 財団第1次選考試験  
 11日(日) RYLA研究会広島大会  
 12日(月) 財団第1次合格発表  
 17日(土) 財団第2次選考試験、選考会議  
 19日(月) 財団第2次合格発表  
 24日(土) ロータリーの森清掃活動  
 25日(日) 所沢西RC40周年  
 31日(土) 東松山むさしRC30周年

## 6月

- 1日(日) 米山学友総会  
 6日(金) >RI青少年交換研究青森大会  
 8日(日) >新座RC50周年  
 14日(土) 財団第5回オリエンテーション  
 14日(土) 新座RC50周年  
 21日(土) >国際大会カルガリー  
 26日(木) 年度末地区役員合同会議  
 28日(土) 年度末地区役員合同会議  
 29日(日) 青少年交換閉校式

## お詫び(訂正)

ガバナー月信4月号「9ページ」のポリオプラスソサエティメンバーの「福山健朗」会員の氏名が間違っていました。お詫び申し上げます。

ガバナー月信 5月号  
2024-2025年度 vol.11

## 月信についてのお問合せ

ガバナー月信編集委員会 委員長 川野健人  
 kawano.kento@drive.ocn.ne.jp

国際ロータリー第2570地区 地区事務所

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2-5-14 ガーデンホテル紫雲閣内  
 TEL.0493-21-2570 FAX.0493-21-2571  
 E-mail d-office@mail.rid2570.gr.jp <https://www.rid2570.gr.jp/>